


○久慈市 産業経済部重点目標 ～部長マニフェスト～

産業経済部長 山田 一徳	<b>【部長コメント】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>農林漁業につきましては、従事者の高齢化と担い手不足が深刻化しており、担い手の確保・育成のため、関係機関・団体が連携して取り組み、新規就業者への誘導に努めます。</li> <li>新規高卒者の地元定着を推進するため、キャリア教育の充実や地元企業見学等の機会を設けるとともに、企業誘致活動を積極的に展開し、新規企業立地や創業支援及び既存企業の持続的発展支援に努めます。</li> <li>秋まつり等の観光資源を最大限活用しながら、観光客や交流人口の拡大に努めるとともに、中心市街地の賑わいを創出するため、駅前整備事業等の着実な推進に努めます。</li> </ul>
	

○平成 29 年度に取り組む重点目標

No.	テーマ	テーマ（事業等）の内容
1	農林漁業新規就業者への誘導	① 久慈地方農業農村活性化推進協議会主催の相談会等を積極的に開催しながら、新規就業者への誘導に努めます。 ② 木の仕事協議会等と連携し、林業関係新規従事者への誘導に努めます。 ③ 水産業担い手協議会（仮称）を立ち上げ、この協議会と連携を図りながら、新規漁業就業者への誘導に努めます。
	テーマ（事業等）の目標	目標達成状況 <b>達成</b> ・一部達成      未達成
	①新規就農者 7人  ②林業関係新規従事者 10人  ③新規漁業就業者 3人	① 久慈地方農業農村活性化推進協議会が行う就農相談会を従来の年1回から年6回に増やし開催するとともに、新規就農パンフレットを作成し、ホームページや広報紙での周知、啓発を行うなど、就農支援に努めたところです。なお、平成30年2月末現在で新規就農者は、11人（自営6人、雇用3人、親元就農2人）となっています（久慈農業改良普及センター調べ）。 ② 本年度から新設されているいわて林業アカデミーに当地方から3人が受講しており、今春、林業関係団体に就職予定となっています。また、昨年度末に設置になった官民連携の久慈地方「木のしごと」協議会において、様々な担い手確保対策事業を展開しています。なお、平成30年2月末現在で今春の林業関係新規従事見込者は10人となっています（久慈地方「木のしごと」協議会からの聞き取り調査）。 ③ マスタープラン及びアクションプランを本年度から2か年の予定で策定することとしています。マスタープランには、3つの主要事業を掲げており、そのうちの 하나가担い手対策事業で、新規漁業就業者確保ために必要な施策について、この事業の中で検討を進めることとしています。なお、平成30年2月末現在で新規漁業就業者は3人となっています（久慈市漁業協同組合からの聞き取り調査）。

No.	テーマ	テーマ（事業等）の内容	
2	新規高卒者の地元定着と企業誘致活動の推進	<p>① キャリア教育や地元企業見学会等の事業を通じて、新規高卒者の地元定着率の向上に努めます。</p> <p>② 企業訪問等積極的な企業誘致活動を行い、久慈市への新規企業立地や創業支援及び既存企業の持続的発展支援に努めます。</p>	
テーマ（事業等）の目標		目標達成状況	達成 ・ <u>一部達成</u> ・ 未達成
<p>①久慈管内新規高卒者の管内就職率</p> <p>ア 管内全高校 44%</p> <p>イ 久慈高・久慈長内高・久慈東高・久慈工業高・久慈拓陽支援 56%</p> <p>②立地件数等</p> <p>ア 新規企業立地又は増設 1 企業</p> <p>イ 創業件数 3 件</p>		<p>① 新規高卒者の管内就職率向上のため関係機関と連携しながら取り組んでいるところであり、中高生に対するキャリア教育の充実については、キャリア教育支援員を置きながら鋭意進めているところです。なお、アについては 44.3%（平成 30 年 1 月末現在）、イについては 50.0%（平成 29 年 12 月末現在）となっているところです。</p> <p>② アについては、十文字チキンカンパニーが平成 29 年 10 月に国内最大級の処理施設を増設したところであり、室電子工業(株)岩手工場においても平成 30 年 3 月に隣接地を取得し、工場増設に着手したところであり、8 月に創業開始予定となっています。また、イに関しては商工会議所等と連携を図りながら支援を行っているところであり、中心市街地での創業も含め、平成 30 年 2 月末現在で 3 件となっているところです。</p>	

No.	テーマ	テーマ（事業等）の内容												
3	交流人口の拡大と中心市街地活性化の推進	<p>① 秋まつり等の各種イベントの開催や観光資源等を最大限活用した体験型観光の受け入れにより久慈市への観光客の増に努めます。</p> <p>② 中心市街地の活性化を図るため、久慈駅前整備事業を着実に推進するとともに、各種イベント等ソフト事業を展開しながら、中心市街地の魅力向上と賑わいの創出に努めます。</p>												
	テーマ（事業等）の目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標達成状況</th> <th>達成</th> <th>一部達成</th> <th>未達成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①秋まつり観光客数 115,000人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②中心市街地歩行者・自転車通行量 5,514人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	目標達成状況	達成	一部達成	未達成	①秋まつり観光客数 115,000人				②中心市街地歩行者・自転車通行量 5,514人			
目標達成状況	達成	一部達成	未達成											
①秋まつり観光客数 115,000人														
②中心市街地歩行者・自転車通行量 5,514人														
	<p>①秋まつり観光客数 115,000人</p> <p>②中心市街地歩行者・自転車通行量 5,514人</p>	<p>① 秋まつりに関しては、2年ぶりの開催となり、目標には達しなかったものの、お還りの日にはのんさんの参加もあって、平成23年度以降では3番目の105,300人の人出を記録しました。特に、お還りの日の人出は53,000人となり、平成23年度以降の一日当たり的人出としては最高を記録しました。</p> <p>② 商工会議所、観光物産協会、街の駅・久慈や商店会など、関係機関等とも連携しながらイベント開催、空き店舗対策に取り組み、中心市街地の回遊性向上に努めているところです。中心市街地の空き店舗は、依然として多い状況にはありますが、当該中心市街地への出店補助件数は、今年度、あまちゃんブーム以来の数となり、また来年度に向けた相談も増えていることから、駅前整備事業が刺激になっているものと捉えており、今後とも中心市街地の賑わい創出に努めます。なお、本年度の中心市街地歩行者・自転車通行量については、調査日がいずれも雨で、悪天候だったことも影響し、2,722人と目標を大きく下回りました。</p>												

○自己評価コメント

- ・ 農林漁業新規就業者への誘導については、いずれも目標数値を達成することができましたが、今後とも農林漁業において最重要で取り組むべき課題であり、新年度においても関係機関等と連携しながら、引き続き取り組んでいきます。
- ・ 新規高卒者の地元定着と企業誘致活動の推進については、ほぼ目標を達成したと考えていますが、引き続き、キャリア教育の更なる充実を図るとともに、商工会議所など関係機関等と連携しながら、創業支援の充実にも取り組んでいきます。
- ・ 交流人口の拡大と中心市街地活性化の推進については、教育旅行、ヘルスツーリズム事業、ロケツーリズム事業等を核に、三陸ジオパーク、みちのく潮風トレイル等を相互に関連させながら交流人口の拡大に努めるとともに、駅前整備事業の着実な進行管理を行い、併せて関係機関等と連携しながら、中心市街地の賑わいの創出にも取り組んでいきます。